



# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	41510	アスベスト対策事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画		市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	2			
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	1	保健衛生費	基本施策	2	生活環境	H27実施計画額		千円
		2314		目	5	生活環境費		施策	3			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	補助対象建築物の所有者又は管理者	どうしたいのか(意図)	アスベスト等の飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る	概要	事業の実施手法(手段)	民間が実施するアスベスト含有調査及びアスベスト除去等に対して助成する
	対象者数	一人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	含有調査	2件	活動指標	アスベスト含有調査件数	件	目標値	8	8	8	4
	除去等	2件		実績(見込)	2	2	2			
H26実績	制度周知	広報たかやま	活動指標	アスベスト除去等件数	件	目標値	2	2	4	2
	含有調査補助の利用者(アスベスト含有あり)への除去工事実施の意向調査			実績(見込)	2	2	2			
H27実績	吹付けアスベスト建材が使用されている建築物所有者への助成制度活用周知		成果指標	アスベスト除去等件数(累計)	件	目標値	6	8	12	14
				実績(見込)	5	8	10			

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	除去工事の助成利用者が少数であるため、更なる除去工事の助成制度利用のPRが必要である。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載など積極的なPRを行う。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載など積極的なPRを行う。
	○二次評価	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,535	4,196	10,000	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	883,750	1,049,000	833,333	833,333
	受益者 補助申請者	(B)	4	4	12	6

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・アスベスト含有調査費に対する助成 ・アスベスト除去工事費に対する助成	要求のポイント	・アスベストによる市民の健康被害を防止するために必要な経費を計上	事業実施の課題	・アスベスト除去の指導をしている県と連携が必要 ・アスベストが吹き付けられている建築物所有者に対する除去工事実施の啓発
------	--	---------	----------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	10,000	5,000	△ 5,000	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	6,000	3,000	△ 3,000	3,000	3,000		
県支出金			0				
一般財源	4,000	2,000	△ 2,000	2,000	2,000		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	74100	都市計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市都市基本計画		市長公約	・建築・土木業、運輸・流通業、環境や情報関連業などを始めとしたまちづくりに関わる業界の皆さんと協働で、市民が安全・安心・便利に暮らせるまちづくりを進めます。
	種別			7	土木費	5		基盤・安全	実施計画事業		都市計画推進事業			
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	款	4	都市計画費	基本施策	1	土地利用	H27実施計画額	千円			
	2339	目		1	都市計画総務費	施策		1	総合的な土地利用					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市が健全に発展し、秩序ある整備を図ることができる状態にする</li> <li>・建築基準法、建設リサイクル法、省エネ法等により、良質な居住環境を整備する</li> <li>・適正な公共建築工事発注のための設計図書を作成し、かつ公共工事として求められる品質を確保する</li> <li>・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例等による指導で秩序ある土地利用と美しい景観の創出を推進する</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画行政に必要な情報の収集や知識の習得、各種都市計画制度の活用等</li> <li>・建築確認及び各届出の審査等</li> <li>・公共建築工事に係る設計及び監理業務等を委託する</li> <li>・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例による届出の審査、確認</li> </ul>
	対象者数	91,605 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画研修等への参加 4人、都市計画道路の変更 2件</li> <li>・建築確認申請(市)56件、建築確認申請(県)10件、完了検査申請49件、位置指定道路10件、都市計画法53条許可申請等9件</li> <li>・市有建築物の改修等に係る設計及び監理業務等を委託し、工事の適正な実施につとめた</li> <li>・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例(大規模開発発届21件、小規模開発発届26件、中規模開発発届82件、景観重点区域内行為届出125件)</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	研修参加者数	人	目標値	5	5	5	5
	実績(見込)		4	4	10		
活動指標	算出根拠等 参加者数		達成率(%)	80	80	200	
	都市計画の決定、変更	件	目標値	2	2	2	2
活動指標	実績(見込)		実績(見込)	4	2	0	
	算出根拠等		達成率(%)	200	100	0	
活動指標	建築確認申請件数	件	目標値	140	140	140	100
	実績(見込)		達成率(%)	116	134	56	
活動指標	算出根拠等 建築確認及び完了検査、位置指定等件数		達成率(%)	83	96	40	
	設計及び監理業務等委託発注件数	件	目標値	11	11	10	10
活動指標	実績(見込)		実績(見込)	16	11	10	
	算出根拠等		達成率(%)	145	100	100	
活動指標	美しい景観と潤いのあるまちづくり条例による届出件数	件	目標値	180	180	180	180
	実績(見込)		実績(見込)	254	254	290	
活動指標	算出根拠等		達成率(%)	141	141	161	
			目標値				
活動指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	大規模開発事業では、美しい景観と潤いのあるまちづくり条例に基づき開発構想図の縦覧、事業者による住民説明会の開催などが行われ、住民参加のまちづくりが推進された。						

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託等により実施する場合には、引き続きコスト削減に努める。</li> <li>・違反建築物に対して厳格な指導を行う。</li> <li>・職員の審査能力の維持及び向上を行う。</li> <li>・市有建築物の管理主体(指定管理者)との責任分担の範囲を明らかにし、必要な経費負担のみを負担することも課題。</li> <li>・建築物等の形態意匠(景観)に係る届出の内容が、景観基準に適合せず改善の指導に苦慮するケースがあるため、市民、建築関係事業者等に対して、景観基準の内容をより積極的に周知する必要がある。</li> </ul>
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修への参加等により知識の習得に努めるとともに、必要な情報の収集を図っている。</li> <li>・国の交付金活用や県からの委託金などにより、財政負担の軽減に努めている。</li> <li>・違反建築物が建築されないよう建築士による適切な工事監理の実施を指導している。</li> <li>・職場研修の実施により、職員の建築確認申請等の審査能力の維持及び向上を進めている。</li> <li>・公共建築物の品質確保の取り組みを確保しつつも、コスト削減に向けた課題を整理する。</li> <li>・建築物の建築は市民が建築関係事業者へ依頼することにより行われるため、建築関係団体に対して、景観基準の周知と遵守について周知を継続する。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報収集や知識の習得に努め、有効な施策の実施につなげるとともに、市民等からの問い合わせに対応する。</li> <li>・今年度実施している都市計画基礎調査や市街地交通状況調査の結果を踏まえ、都市の健全な発展のための方策について検討を進める。</li> <li>・違反建築物が建築されないよう継続して建築士による適切な工事監理の実施を指導する。</li> <li>・職場研修の継続して職員の建築確認申請等の審査能力の維持及び向上を進める。</li> <li>・早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む。</li> <li>・広報たかやま等の活用により市民に対して景観基準の周知をより積極的にを行い、併せて景観デザイン賞の制度の活用により美しく潤いのある景観の創出を推進する。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。</li> <li>・今年度実施している都市計画基礎調査や市街地交通状況調査の結果を踏まえ、都市の健全な発展のための方策について検討を進める。</li> <li>・違反建築物が建築されないよう継続して建築士による適切な工事監理の実施を指導する。</li> <li>・職場研修の継続して職員の建築確認申請等の審査能力の維持及び向上を進める。</li> <li>・早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。</li> <li>・今年度実施している都市計画基礎調査や市街地交通状況調査の結果を踏まえ、都市の健全な発展のための方策について検討を進める。</li> <li>・違反建築物が建築されないよう継続して建築士による適切な工事監理の実施を指導する。</li> <li>・職場研修の継続して職員の建築確認申請等の審査能力の維持及び向上を進める。</li> <li>・早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。</li> <li>・今年度実施している都市計画基礎調査や市街地交通状況調査の結果を踏まえ、都市の健全な発展のための方策について検討を進める。</li> <li>・違反建築物が建築されないよう継続して建築士による適切な工事監理の実施を指導する。</li> <li>・職場研修の継続して職員の建築確認申請等の審査能力の維持及び向上を進める。</li> <li>・早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	45,584	5,067	25,333	26,773
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	491	55	277	292
	受益者 全市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両進入制限社会実験の実施</li> <li>・都市計画関係研修への参加</li> <li>・都市計画審議会開催</li> <li>・建築確認申請等の受付、審査等の実施</li> <li>・市有建築物の改築・改修等にかかる設計及び監理業務の委託</li> <li>・まちづくり審議会の開催、開発許可申請等の受付・審査等に必要なる事務費</li> <li>・まちづくり条例に関する説明会の実施</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い町並界隈における車両進入制限の社会実験実施に必要な経費を計上</li> <li>・都市計画行政、建築行政に必要な情報の収集や知識の習得に必要な経費を計上</li> <li>・建築確認申請等の円滑な事務処理に必要な経費を計上</li> <li>・建築関係団体等に対して景観基準を周知するために必要な経費を計上</li> <li>・高山市景観計画の見直しに必要な経費を計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行空間の創出、潤いや落ち着きのある街並み形成に効果的な車両進入制限の実施方法の確立</li> <li>・専門的な知識等の効果的効率的な習得</li> <li>・都市計画、景観計画等の建築規制に係る建築関係団体への周知徹底</li> <li>・ランニングコストを考慮した適切な施設の設計を行う必要がある</li> <li>・建築関係団体等への景観基準等の周知と遵守の啓発</li> </ul>
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	25,333	26,773	1,440	19,763	19,763	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	1,200	2,800	1,600	2,800	2,800		
県支出金	3,778	76	△ 3,702	75	75		
その他	1,421	1,497	76	2,381	2,381		
一般財源	18,934	22,400	3,466	14,507	14,507		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	74120	建築物耐震対策事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市耐震改修促進計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります ・住宅の耐震化率を90%以上に高めるとともに、防災ラジオの普及率を80%以上に高めめます
	種別			7	土木費	5		基盤・安全	実施計画事業		建築物耐震総合対策事業		
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線 2317	項	4	都市計画費	基本施策	4	住宅公園	H27実施計画額	千円		
	目	1		都市計画総務費	1	良質な住宅環境の整備							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市内にある建築物の所有者	どうしたいのか(意図)	平成36年度までに住宅や一定用途・規模以上の建築物に関して耐震化率95%以上とするため、耐震診断及び耐震補強工事に対する助成制度を実施し、地震に強い安全・安心なまちづくりを目指す	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断及び耐震補強工事に対する補助を行う</li> <li>広報たかやま、戸別訪問による耐震化の啓発</li> <li>耐震診断士への説明会の開催</li> <li>耐震診断実施者へのフォロー</li> </ul>
対象者数	— 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	木造戸建て住宅耐震診断 61件 建築物耐震診断 5件 木造住宅耐震補強工事 11件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	耐震診断実施件数	件	目標値	150	150	156	108
		実績(見込)	102	66	35			
	算出根拠等		耐震診断実施件数/耐震診断目標件数	達成率(%)	68	44	22	
	活動指標	耐震補強工事実施件数	件	目標値	29	36	35	21
		実績(見込)	15	11	8			
	算出根拠等		耐震補強工事実施件数/耐震補強工事目標件数	達成率(%)	52	31	23	
	成果指標	住宅の耐震化率	%	目標値	90	90	90	90
		実績(見込)	65	65	65			
	算出根拠等		耐震強度のある住居の戸数/全住居の戸数	達成率(%)	72	72	72	
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅の耐震診断は無料で実施しているため申請件数は比較的多いが、耐震補強工事は費用が高むことから申請件数が伸びてこない。補助額の増額の検討や、簡易補強の推進を図るなど、市民が活用しやすい制度設計が必要である。</li> <li>伝統構法木造建築物耐震化マニュアルに基づく耐震診断、耐震補強工事の補助制度を新設した。</li> <li>伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用できる建築士等への研修を実施する。</li> <li>補助制度等の周知の継続が必要である。(耐震診断利用者に対する個別相談会や個別訪問等のPRを継続していく。)</li> </ul>
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修促進法の改正に伴う耐震診断の義務化建築物の早期耐震化について、国・県と連携して必要な取組みを進める。</li> <li>伝統構法木造建築物耐震化マニュアルに基づく耐震診断、耐震補強工事の補助制度を新設した。</li> <li>伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用できる技術者の育成と、当該マニュアルを活用した補助制度の周知を進める。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅の簡易な補強工事の利用についても推進していく。</li> <li>伝統構法木造建築物の耐震化へ向けた取り組みを引き続き行う。</li> </ul>
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断が補強工事の実施につながるよう、有効な対策を講じる必要がある。</li> <li>伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用した耐震化を推進する必要がある。</li> </ul>
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	34,515	24,944	86,010	87,648
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	295,000	323,948	452,684	473,773
	受益者	耐震補助の申請者	(B)	117	77	190

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅耐震診断委託</li> <li>伝統構法木造建築物耐震診断に対する助成</li> <li>建築物耐震診断(木造住宅以外)に対する助成</li> <li>木造住宅耐震補強工事に対する助成</li> <li>伝統構法木造建築物耐震補強工事に対する助成</li> <li>特定建築物耐震補強工事に対する助成</li> <li>耐震シェルター設置に対する助成</li> <li>木造住宅耐震補強工事相談会 相談士派遣業務委託</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統構法木造建築物耐震診断及び耐震補強工事等に対する助成にかかる経費を計上</li> <li>木造住宅耐震補強工事相談会に相談士を派遣する経費を計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強工事は工事費が高額となるため、耐震診断や耐震補強工事を敬遠する傾向がある</li> <li>伝統構法木造建築物に係る技術者・技能者の確保・育成</li> <li>平成27年度が高山市耐震改修促進計画の最終年となるため、計画変更に合わせて新たな補助事業のあり方について検討する必要がある</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	86,010	87,648	1,638	60,610	60,610	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	24,246	16,742	△ 7,504	15,600	15,600		
国庫支出金	14,275	12,511	△ 1,764	10,500	10,500		
県支出金			0				
その他							
一般財源	47,489	58,395	10,906	34,510	34,510		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	74500	緑地保全推進事業費	会計	1	一般会計	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市緑の基本計画		市長公約
	種別			7	土木費		分野	2		環境・景観	実施計画事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課		予算	項	4	都市計画費	基本施策	1	地球環境	H27実施計画額		千円
				内線	5	景観保全総務費		施策	1		自然環境の保全と活用	
	2312			目	5	景観保全総務費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・潤いとやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けられる環境を整備する ・緑化意識の高揚を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・緑と親しむ日等におけるイベントの開催 ・市街地周辺の里山の取得 ・里山保全に協力する所有者に対する奨励金の交付 ・市指定保存樹等の管理に対する助成
	対象者数	91,605 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>松倉山市民ハイキング(平成25年6月)、結婚記念樹配布(平成25年6月)を実施</li> <li>片野町地内の里山を取得</li> <li>里山保全に協力する所有者に対する奨励金の交付</li> <li>市指定保存樹等の管理に対する助成</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	緑と親しむ日等に実施したイベント回数	回	目標値	3	3	3	3
	実績(見込)			3	2	3	
成果指標	算出根拠等	実施回数/計画回数	達成率(%)	100	67	100	
	緑と親しむ日等に実施したイベント参加人数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
成果指標	算出根拠等	イベントにおける参加人数の合計	実績(見込)	838	681	835	
	達成率(%)			84	68	84	
成果指標	里山購入面積	㎡	目標値	60,000	60,000	60,000	20,000
	算出根拠等	里山取得面積/取得計画面積	実績(見込)	2,062	1,800	34,933	
成果指標	達成率(%)			3	3	58	
	算出根拠等		目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)						
補足	算出根拠等		目標値				
	実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)					
・緑と親しむ日等にイベントを実施することで、自然に親しみ、花や木を育てる機会を与え、緑化意識の高揚につながっている ・市街地周辺の里山の取得に向けた取り組みは、里山保全意識の啓発につながっている ・市指定保存樹等の管理経費の助成は、緑の保全につながっている							

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・緑と親しむ日等に実施するイベントは、親から子へ、子から孫へと新しい世代の緑化に関する意識を高めるため、今後も継続的に実施していくことが重要である。 ・里山の取得については、費用対効果の検討による価格設定が必要である。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・里山取得については、開発行為が行われそうな、市街地からの景観上重要な箇所を選定し交渉を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・緑と親しむ日等にイベントを実施することで、着実に市民の緑化意識の高揚を図る ・取得した里山については、適正な管理により保全を図っていく ・緑化推進事業に対し補助金を交付し、緑化の推進及び緑地の保全につなげる
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,861	7,080	37,350	11,709
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	74	77	408	128
	受益者	全市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・市民の緑化意識の高揚を図るためのハイキング等イベントの実施 ・補助金を活用した緑化推進及び緑地保全 ・市街地を取り囲む里山取得等	要求のポイント	・緑化意識の高揚につなげるため継続的な緑化推進に関するイベントの実施に係る経費を計上 ・民間による緑地保全及び緑化を推進するため保全契約及び保存樹等に係る経費を計上 ・市街地から見た里山の景観を保全するため里山取得及び管理に係る経費を計上	事業実施の課題	・保存樹にふさわしい樹木を指定するには、保存樹の要件として必要な「健全かつ自然環境上保護が必要」であるかどうかについて専門家の意見を聞いた上で判断する必要がある ・里山取得に当たっては、それぞれの山林に応じた単価の設定が必要である ・今までに里山として取得した山林については、購入してから手入れがされていないため、枝打ち、除伐、間伐などの管理が必要になってきている
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		37,350	11,709	△ 25,641	16,800	16,800	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	34,380	4,377	△ 30,003	13,126	13,126		
	一般財源	2,970	7,332	4,362	3,674	3,674		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	74510	景観保全奨励事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市景観計画、高山市歴史的風致維持向上計画	市長公約
	款			7	土木費	分野		2	環境・景観		実施計画事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課	内線	2317	項	4	都市計画費	基本施策	3	景観	H27実施計画額	千円	
				目	5	景観保全総務費	施策	1	個性ある景観の保全・活用			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域における保存活動を支援することにより、美しい景観の保全・創出を図る</li> <li>景観保全に係る補助を実施することにより、美しい景観の保全・創出を図る</li> <li>屋外広告物条例に基づき、適正な屋外広告物の掲出を指導する</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域の拡大及び保存会の活動に対して補助する</li> <li>景観保全に係る事業に対して補助する</li> <li>屋外広告物の許可申請事務を行う</li> <li>景観デザイン賞の表彰を行う</li> </ul>
	対象者数	91,605 人			

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域保存会助成件数 12件</li> <li>市街地景観保存区域損失補償 5件</li> <li>高山の景観にふさわしい看板補助金 2件</li> <li>生けがき等設置補助金 4件</li> <li>一般開放型便所改修補助金 2件</li> <li>景観形成事業(塙等設置)補助金 1件</li> <li>屋外広告物新規許可 279件</li> <li>屋外広告物更新許可 430件</li> <li>屋外広告物変更許可 10件</li> <li>景観デザイン賞表彰事業 建築物の部 奨励賞 2件 特別賞 2件 サインの部 奨励賞 1件 緑のある修景の部 特別賞 1件</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	市街地景観保存区域保存会助成件数	件	目標値	13	13	13	13
	算出根拠等		実績(見込)	12	12	12	
活動指標	市街地景観保存区域建造物修景補助金	件	目標値			5	12
	算出根拠等		実績(見込)			11	
活動指標	景観重要建造物修景事業補助金	件	目標値			1	1
	算出根拠等		実績(見込)			1	
活動指標	生けがき等設置補助金	件	目標値	16	16	17	8
	算出根拠等		実績(見込)	6	4	8	
活動指標	高山の景観にふさわしい看板補助金	件	目標値	11	11	11	15
	算出根拠等		実績(見込)	0	2	9	
活動指標	屋外広告物許可件数(新規・更新・変更)	件	目標値	710	710	710	710
	算出根拠等		実績(見込)	744	719	719	
補足			達成率(%)	105	101	101	

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築関係団体に景観基準が十分周知・理解されていないケース等があるため、建築関係団体及び景観保存会に対して積極的に景観基準の周知が必要である。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成が必要である。</li> <li>広報たかやまに助成内容を掲載し制度周知を行った。また、制度利用が期待される市街地景観保存区域や伝建地区への意向調査を実施した。</li> <li>景観上重要な建造物の保存を図るため、景観重要建造物の修景補助を新設、及びその他補助金の拡充により、制度促進を行った。</li> <li>簡易除却の実施、更新許可の督促、既存不適格物件への改善指導を実施している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域の一層の保全のため、市街地景観保存区域建造物修景補助金を新設した。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。</li> <li>広報たかやまに助成内容を掲載し制度周知を行った。また、制度利用が期待される市街地景観保存区域や伝建地区への意向調査を実施した。</li> <li>景観上重要な建造物の保存を図るため、景観重要建造物の修景補助を新設、及びその他補助金の拡充により、制度促進を行った。</li> <li>簡易除却の実施、更新許可の督促、既存不適格物件への改善指導を実施している。</li> </ul>

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域の一層の保全のため、市街地景観保存区域建造物修景補助金を新設した。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。</li> <li>広報たかやまに助成内容を掲載し制度周知を行った。また、制度利用が期待される市街地景観保存区域や伝建地区への意向調査を実施した。</li> <li>景観上重要な建造物の保存を図るため、景観重要建造物の修景補助を新設、及びその他補助金の拡充により、制度促進を行った。</li> <li>簡易除却の実施、更新許可の督促、既存不適格物件への改善指導を実施している。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域建造物修景補助金の積極的な利用を促し、良好な景観形成の推進を行う。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。</li> <li>広報たかやま等の活用により制度周知を行う。また、景観形成に意識が高い住民が主体となって景観保存活動を行う団体に対して制度活用を勧め、併せて景観デザイン賞の制度の活用により美しく潤いのある景観を創出した者を積極的に表彰する。</li> <li>景観重要建造物の指定を積極的にを行い、その保存を図る。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域建造物修景補助金の積極的な利用を促し、良好な景観形成の推進を行う。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。</li> <li>広報たかやま等の活用により制度周知を行う。また、景観形成に意識が高い住民が主体となって景観保存活動を行う団体に対して制度活用を勧め、併せて景観デザイン賞の制度の活用により美しく潤いのある景観を創出した者を積極的に表彰する。</li> <li>景観重要建造物の指定を積極的にを行い、その保存を図る。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域建造物修景補助金の積極的な利用を促し、良好な景観形成の推進を行う。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。</li> <li>広報たかやま等の活用により制度周知を行う。また、景観形成に意識が高い住民が主体となって景観保存活動を行う団体に対して制度活用を勧め、併せて景観デザイン賞の制度の活用により美しく潤いのある景観を創出した者を積極的に表彰する。</li> <li>景観重要建造物の指定を積極的にを行い、その保存を図る。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域建造物修景補助金の積極的な利用を促し、良好な景観形成の推進を行う。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。</li> <li>広報たかやま等の活用により制度周知を行う。また、景観形成に意識が高い住民が主体となって景観保存活動を行う団体に対して制度活用を勧め、併せて景観デザイン賞の制度の活用により美しく潤いのある景観を創出した者を積極的に表彰する。</li> <li>景観重要建造物の指定を積極的にを行い、その保存を図る。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	3,329	28,744	23,248
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	36	312	254
	受益者 市民	(B)	92,861	92,097	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域保存会補助金(第1種、第2種)</li> <li>市街地景観保存区域建造物補助金</li> <li>市街地景観保存区域行為損失補償</li> <li>生けがき、塙等設置に対する助成</li> <li>景観にふさわしい看板の設置等に対する助成</li> <li>一般開放型施設の整備に対する助成</li> <li>景観重要建造物に指定された建造物に係る外観の保持・保存に対する助成</li> <li>屋外広告物許可申請業務に係る事務費</li> <li>加入景観団体等への負担金</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域の拡大を図る</li> <li>平成26年度より各種補助制度において制度の拡充・新設を行っており、今後申請数の増加が見込まれる</li> <li>屋外広告物許可事務等に係る必要経費を計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築関係団体に景観基準が十分周知・理解されていないケース等があるため、建築関係団体及び景観保存会に対して積極的に景観基準の周知が必要である。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成が必要である。</li> <li>景観保全を行うにあたり既存条例では指導できない問題が生じているため、保存会と市が協働して当該問題解決の手法を検討する必要がある。</li> <li>違反広告物及び不適格広告物(条例適用時に適合しない部分がある広告物)に対する指導強化</li> <li>市民に十分に助成制度が周知されていないと考えられるため、広報たかやま等を活用して当該助成内容を周知する必要がある。</li> </ul>
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	23,248	37,247	13,999	28,348	28,348	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	7,650	12,424	4,774	9,320	9,320		
県支出金	44	30	△14	38	38		
その他	40		△40	2,750	2,750		
一般財源	15,514	24,793	9,279	16,240	16,240		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	74600	公園管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市緑の基本計画	市長公約
	種別			款	7	土木費		分野	5	基盤・安全		実施計画事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	基本施策	4	住宅公園	H27実施計画額	千円		
				2312	目	6		公園管理費	3		利用しやすく特色ある公園づくり		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や観光客が公園やまちかどスポットを安心・安全・快適に利用できるよう施設管理する。</li> <li>市民や観光客にやすらぎや交流の場を提供するため、適切に公園整備を実施する</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園及び地区公園の維持管理</li> <li>まちかどスポットの維持管理</li> <li>市道の街路樹の維持管理</li> <li>都市・地区公園の改修及び整備</li> </ul>
	対象者数	91,605 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園36箇所及び地区公園39箇所の維持管理</li> <li>まちかどスポット107箇所の維持管理</li> <li>市道(45路線)の街路樹の維持管理</li> <li>都市公園整備工事(29件)・地区公園整備工事(16件)・その他工事(4件)</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	公園整備・改修箇所数	箇所	目標値	3	2	2	2
	算出根拠等	大規模工事の発注箇所	実績(見込)	3	2	2	
成果指標	公園利用満足度	%	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等	モニタリング調査	実績(見込)	94	94	94	
成果指標	市民一人当たりの公園面積	m <sup>2</sup>	目標値	10	10	10	10
	算出根拠等	都市・地区公園/市民人口	実績(見込)	13	13	13	
補足	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も定期的な点検を行い、必要に応じて修繕・改修を行い、安全で安心して利用できる公園として管理していく必要がある。</li> <li>モニタリング調査で得られた意見を参考にし、市民ニーズに応えられる管理をしていく必要がある。</li> <li>市民の意向を反映し、誰もが安心して利用できる公園となるよう計画的な施設整備を実施していく必要がある。</li> </ul>
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具等の公園施設は、緊急度や利用度の高いものから順次修繕を実施している。</li> <li>管理面においては、注意看板の設置など市民ニーズに応えられる内容のものは積極的に対応している。</li> <li>誰もが快適に公園を利用できるよう、園路の段差解消などの工事を実施している。</li> <li>公園整備に当たっては、現地調査を十分にを行い、コスト削減を図った設計を行っている。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的にを行い、安心して利用できる公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な維持管理に努める。</li> <li>引き続き指定管理者による効率的な施設管理を行う。</li> <li>バリアフリー化等の公園改修については、計画的な整備を行う。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	117,168	150,460	143,808	167,989
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,262	1,634	1,570	1,834
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園、地区公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な管理</li> <li>都市・地区公園工事改修等、突発工事</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や観光客が公園やまちかどスポットを安全、安心、快適に利用できるようなするための必要な経費を計上</li> <li>街路樹根上り対策などバリアフリー対策工事に係る経費を計上</li> <li>安心・安全に公園を利用してもらうための危険箇所の対策工事に係る経費を計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>隔年剪定は枝葉が車両や歩行者の通行の支障になりやすく、植生上も好ましくないため、毎年剪定に変更していく必要がある</li> <li>公園を適正に管理するために使用している公園管理備品の老朽化が著しく、順次更新が必要である</li> <li>公園整備後、経年劣化により施設の修繕箇所が増加している</li> <li>街路樹や公園樹木の根上りによる危険箇所が増加している</li> <li>安全対策のため、城山公園を初めとする山林のある公園の腐朽危険木の伐採が毎年必要である</li> </ul>
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	143,808	167,989	24,181	110,678	110,678	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	11,600	8,347	△ 3,253	1,400	1,400		
一般財源	132,208	159,642	27,434	109,278	109,278		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	74700	歴史的環境保全整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市歴史的風致維持向上計画	市長公約
	種別			款	7	土木費		分野	5	基盤・安全		実施計画事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	H27実施計画額	基本施策	4	住宅公園	千円		
			2337	目	7	快適環境整備費		施策	3	利用しやすく特色ある公園づくり			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人が集えるまちかどスポットを適正に配置し、市街地の利便性を高め周遊性の向上を図る</li> <li>まちかどの歴史的風致の向上を図る</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>休憩施設や情報掲示施設等を備えたまちかどスポットを「憩いの場」として整備する</li> </ul>
	対象者数					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・まちかどスポット改修工事(12箇所)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	横丁整備延長数	m	目標値	349			
		実績(見込)		353				
	算出根拠等	実施延長/計画延長		達成率(%)	101			
	活動指標	遊歩道看板整備箇所数	箇所	目標値	30			
		実績(見込)		33				
	算出根拠等	設置箇所/計画設置箇所		達成率(%)	110			
	活動指標	まちかど整備箇所数	箇所	目標値		10		
		実績(見込)		12				
	算出根拠等	整備箇所/計画整備箇所		達成率(%)		120		
	活動指標	憩いの場整備箇所数	箇所	目標値			2	3
		実績(見込)				2		
算出根拠等	整備箇所/計画整備箇所		達成率(%)			100		
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
・横丁整備やまちかどスポットの改修により、地域コミュニティの場としての機能が強化され、地域の活性化につながっている								

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちかどスポットについては、「見せる場」から「憩える場」へ整備転換し、休憩施設や情報発信施設の機能強化が必要である。</li> <li>これまで整備した「周遊ルート」との相乗効果が得られる整備箇所の選定が必要である。</li> </ul>
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		・まちかどスポット「憩いの場」の整備については、地域の方の意見をいただいた上で設計することとしている。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	憩いの場整備事業の計画に基づき、事業を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	29,681	9,476	10,000	10,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	320	103	109	109
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	憩いの場整備工事	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>憩いの場整備の事業計画に基づき整備に必要な経費を計上</li> <li>まちかどの休憩施設の充実を図る</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地には休憩施設が不足しているため、休憩施設の拡充が求められている</li> <li>地域住民、町並保存会など様々な意見をまとめ、工事に反映することが必要である</li> <li>当該整備においては、伝統的技法や地場産材を有効活用する必要がある</li> </ul>
------	----------	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	10,000	0	10,000	10,000	・要求どおり	・財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金	4,000	4,000	0	4,000	4,000		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	6,000	6,000	0	6,000	6,000		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	75100	市営住宅管理事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市営住宅整備計画	市長公約
	種別			款	7	土木費		分野	5		基盤・安全	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線 2337	項	5	住宅費	基本施策	4	住宅公園	H27実施計画額	千円	
	目	1		住宅管理費	施策	2		市営住宅の効果的・効率的な供給と管理				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市営住宅入居者	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅に困窮する市民に対して、低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定を図る</li> <li>・市営住宅の整備・改修を進め、居住者の生活環境の快適化を図る</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとの家賃算定、毎月の家賃収入、入居者からの相談対応等</li> <li>・指定管理者との役割分担のもと市営住宅の維持管理を行う</li> <li>・住宅修繕及び改修工事の実施(住宅改修工事・空家修繕工事・突発修繕工事)</li> </ul>
	対象者数	822 戸					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納整理業務の強化(課全員での対応、年間通しての滞納整理業務)による徴収率の増</li> <li>・指定管理者との連絡を密にした維持管理対応</li> <li>・奥飛騨温泉郷団地落雷防止工事、赤保木団地床改修工事、無数河団地外部改修工事、杉ヶ丘団地手摺設置工事、その他突発対応工事等の実施</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	家賃徴収率	%	目標値	95	95	95	95
			実績(見込)	96	96	95	
算出根拠等 家賃納付金額/家賃納付調定額			達成率(%)	101	101	100	
活動指標	市営住宅 入居募集回数	回	目標値	4	4	4	4
			実績(見込)	4	4	4	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	市営住宅入居率	%	目標値	90	90	90	90
			実績(見込)	85	83	83	
算出根拠等 入居戸数/住宅全戸数(H26.3.31時点)			達成率(%)	94	92	92	
成果指標	市営住宅利用満足度	%	目標値	100	100	100	100
			実績(見込)	83	84	84	
算出根拠等 モニタリング調査			達成率(%)	83	84	84	
活動指標	整備計画達成状況(大規模改修工事)	件	目標値	1	5	3	4
			実績(見込)	3	4	3	
算出根拠等 大規模工事の発注箇所			達成率(%)	300	80	100	
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。</li> <li>・滞納傾向にある居住者への早期指導と連帯保証人を含めた滞納整理の強化が必要である。</li> <li>・老朽化対策やバリアフリー対策を含めた新整備計画の策定が必要である。</li> <li>・民間活力導入等の検討が必要である。</li> </ul>
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に合わせて住宅の需給バランスを考慮し、配置の適正化に向けた検討をしている。</li> <li>・次年度以降の市営住宅整備計画を策定する。</li> </ul>
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。</li> <li>・地域の実情に合わせて、配置の適正化を実施する。</li> <li>・市営住宅整備計画に基づく工事を実施する。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。</li> <li>・地域の実情に合わせて、配置の適正化を実施する。</li> <li>・早急に整備計画を策定する必要がある。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	126,456	120,035	97,928	123,819
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	153,839	146,028	119,134	150,631
	受益者	市営住宅管理戸数	(B)	822	822	822	822

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅三福寺団地家屋借上</li> <li>・市営住宅土地借上</li> <li>・施設の維持管理委託等</li> <li>・市営住宅の適切な維持修繕及び改修工事</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅を適正に管理するための予算を計上</li> <li>・老朽化の著しい住宅の改修に必要な経費を計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者との連携を密にした維持管理や修繕の実施が必要である</li> <li>・地域の需要に応じたバランスの良い住宅の供給が必要である</li> <li>・総合計画に基づく次期整備計画の策定が必要である</li> </ul>
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	97,928	123,819	25,891	110,378	110,378	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	5,000		△ 5,000				
	県支出金			0				
	その他	75,928	73,845	△ 2,083	79,648	79,648		
	一般財源	17,000	49,974	32,974	30,730	30,730		